

中央会 おかやま

連 挑 感 ～連携・挑戦で感動の先駆者たれ～

組合活性化情報

岡山県中央会 web site <https://www.okachu.or.jp>
E-mail chuokai@okachu.or.jp

2014

November Vol.757

INDEX

Leader's「i」協同組合岡山県卸センター……2～3p
中央会の取組紹介ほか……4～8p
がんばる組合の紹介……9～11p

情報連絡員レポート……12～14p
インフォメーション……15p



組合員やテナント、 地域の方々とともに問屋町のまちづくりを 進めていきます



協同組合岡山県卸センター
青年部会長
蜂谷 大樹 氏

組合員やテナント、 地域の方々とともに問屋町のまちづくりを 進めていきます

■組合と青年部の概要について教えてください

当組合は、(協)岡山県卸センターとして昭和39年に設立されました。平成12年に組合の定款を変更し、卸売業以外の業種も受入可能となり、現在ではあらゆる業種の店舗や事務所、マンション等が混在する新たな商業スポットとして賑わう街となりました。平成30年には、商業施設問屋町テラスがオープンし、新たな賑わいに加わっているところ です。

また、「卸センター経営研究会」という有志の組織が青年部の役割を果たしていたのですが、平成24年4月に正式に青年部として発足しました。現在、11名の青年部員で活動を行っています。

■問屋町での取組について教えてください

今年1月、組合員企業である(株)岡山工コールが、当組合事務所内に岡山県内の中小企業のDX推進を支援する「Okayama SaaS/DX Ctr.」を開設しました。岡山県中央会(岡山県委託事業)による「サービス産業生産性向上支援事業」では、当組合青年部にも所属している(株)岡山工コールの西室長が専門家として、問屋町内にある蜂谷商事(株)や宇治郷(株)等の業務効率化やIT導入を支援しました。蜂谷商事(株)では、従来のタイムカードで行っていた勤怠管理やアナログでの集計作業をクラウドソフト導入により自動化し、業務のデジタル化を進めるきっかけとなりました。

今後中央会の事業やDX Ctr.を活用し、問屋町内の企業のDX化推進に繋がればと考えています。

また、近隣の小学校に向けて、問屋町の歴史や卸売業について説明する出前授業も行っています。授業ではスライドを使い、昔と今の問屋町を比較しながら説明しています。授業後には、青年部の企業である宇治郷(株)や岡山JOM(株)等の会社見学を実施し、会社や街の歴史だけでなく、問屋町内の交通ルールなども教えています。問屋町に興味を持ってもらい、地域の皆さんとともに街を発展させたいと考えています。

■最近力を入れている青年部の主な活動について教えてください

今年から組合の各種委員会の委員長を青年部から選出し、青年部が主体的に委員会活動を進めています。その中で、「パイロットプロジェクト委員会」が組織され、将来のまちづくりに向けて様々な社会実験を企画しています。その一環として、問屋町テラス北側通りを歩行者天国にして楽しむ「問屋町 Street Fest」も開催し、青年部員を中心に問屋町内の企業やテナント、外部からはキッチンカーの方々とも協力して、街全体が一丸となってイベントに取り組んでいます。この活動を通じて、以前はあまり交流がなかったテナントの方々とも繋がりが生まれ、今後は一緒に街の未来について考えていきたいです。



空から見た問屋町



出前授業の様子



また、今年も11月16日(土)14時〜21時に「問屋町 Street Fes2024 夏・UTAGAE」を開催します。問屋町内の飲食店やキッチンカーが出店し、ジャズの演奏も行われますので、秋空の下、美味しい食べ物とジャズの音色をぜひ楽しみに来てください。

今後力を入れていきたい青年部の取組について教えてください

11月には、岡山県総合流通センター卸(協)青年部からの呼びかけにより、(協)岡山機工センター青年部、当組合青年部で青年部他団体交流会を実施する予定です。会食を交えた意見交換を通じて、他の青年部の困りごとや課題を解決した事例などを共有し、親睦を深め、横の繋がりが広がればと考えています。

また、リスクリングを目的とした勉強会やまちづくりについて

青年部メンバーからの一言コメント



協同組合岡山卸センター
青年部 監事
宇治郷株式会社 代表取締役
宇治郷 貴世司 氏

この青年部にも共通して言えることかもしれませんが、情報共有については円滑にできていると感じます。問屋町内でも様々な考えがあるとは思いますが、目指す方向は一致しているのではないのでしょうか。また、青年部を卒業しても次世代にバトンを渡していけるまちづくりを続けていきたいと考えています。

ついでの視察も行っていきたいです。昨年は親会の事業としての視察に初めて青年部も参加しました。まちづくりを行っているエリアを実際に視察することで、電動キックボードの導入検討が議題に上がるなど議論が活発になりました。今後も見識を広げるために先進地の視察を行いながら、まずは用水路を活用したまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

今後の目標について教えてください

まずは、目下に迫っている「問屋町 Street Fes」を成功させ、今後、定着していけるようにしたいです。青年部としては組織の中から若い人材を発掘し、組織の将来を見据えたビジョンを考える必要があると感じています。現在、問屋町内には多種多様なテナントの方々で商売をされています。そのテナントの方々とも協力し、街全体で活性化を図ってまいります。



協同組合岡山卸センター
青年部 顧問
全国中小企業青年中央会
直前会長
岡山県中小企業団体青年中央会
元会長(現理事)
株式会社エナニ 代表取締役
惠南 敏弘 氏

全国中小企業青年中央会(各都道府県の青年中央会を会員とする組織)の会長を今年6月まで勤めさせていただきました。通常の青年部活動だけでは出会えなかった全国47都道府県の青年中央会の方々とも繋がることができ、大きな財産となりました。今後もその繋がりを大切に、問屋町内の活動に役立てたいと考えています。



問屋町 Street Fes



組合フロフィール

組合名：協同組合岡山卸センター
設立：昭和39年1月
所在地：岡山市北区問屋町15番地101
TEL：086-241-4131
HP：https://toiya-cho.com/
組合員数：32名
青年部会員数：11名

第76回中小企業団体全国大会 開催される

去る10月24日(木)、福井県のフェニックス・プラザにて、第76回中小企業団体全国大会(主催：全国中小企業団体中央会)が開催されました。

中小企業団体全国大会は、中小企業者で組織する全国約2万7,000組合等の意見を総意としてとりまとめ、内外に広く表明するとともに、国等に対して中小企業の振興施策の強化を要望し、安定した中小企業の成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的として、毎年開催されています。

当日は、協同組合関係者約2,000名が参加し、『～幸せ紡ぎ 新しい未来(あした)へ～』を大会テーマに掲げ、原点である相互扶助の精神のもと、中小企業者同士が団結の力を再確認することにより、現下の難局を乗り越えることが必要であると、中小企業の結束力を強くアピールしました。また大会決議では、「急激な事業環境変化への対応、経営課題解決に向けた支援の拡充強化」、「中小企業・小規模事業者の人材育成・確保・定着対策」等の政府に要望する14項目を採択しました。

また大会では優良組合43団体、組合功労者72名、中央会優秀専従者25名の表彰式もあり、岡山県からは組合功労者として次の方が表彰されました。

◆組合功労者

国士ハイウェイ協同組合
理事長 小川 雅司 氏

次回全国大会は、来年11月12日に
広島県で開催されます。



(イノベーション推進課 池田)

多様で柔軟な働き方推進フォーラム 2024開催される

岡山県中央会では、去る10月16日(水)に岡山県の委託を受け、岡山労働局との共催で「多様で柔軟な働き方推進フォーラム2024」を開催しました。

本フォーラムでは、障害者雇用や勤務間インターバル制度、フレックスタイム制などの多種多様な働き方について、県内企業等の取り組みや先進事例を研究し、職場環境の向上につながるヒントを得ることを目的としております。

第一部の基調講演では、(株)ジワラテクノアートの藤原加奈代表取締役副社長から、「多様な個の躍動を実現する人的資本経営の実践」と題した基調講演があり、第二部では、様々な人材活用、勤務体制の確立等について県内企業から事例発表がありました。

また、その後開催されたグループディスカッションでは、事例発表テーマを題材として3グループに分かれて活発に情報交換がなされました。このほか、行政機関から労働・雇用に関する制度説明などが行わ

れました。参加者からは「内容が濃く、たいへん参考になった」「働き方改革に取り組む課題や手法などのヒントを得ることができた」等のコメントがありました。

岡山県中央会では、子育て支援や働き方改革などについて様々な事業を展開していますので、お気軽にお問い合わせください。

(企業人材支援課 岡崎)



中小企業省力化投資補助金 公募再開

8月9日(金)より中小企業省力化投資補助金の公募が再開しています。なお、応募・交付申請の利便性向上を図り、早期の省力化を実現するため、当面の間は応募については随時受付に変更となりました。採択・交付決定は申請から概ね1〜2ヶ月程度を予定しています。

また、製品カタログの充実を図るため新たに「**カタログ登録サポートセンター**」が設置されました。この窓口では主に、製品カタログの登録プロセスに関する工業会や省力化製品の製造事業者をはじめ、販売事業者、中小企業等からの御相談を受け付けることで、製品カタログにカテゴリ及び製品を登録するためのサポートを行います。制度全般に関するご相談や応募・交付申請に関するご相談などにつきましては従来通り各都道府県に設置されている「**インフォメーション窓口**」をご活用ください。

カタログ登録サポートセンター

TEL: (03) 6746-1530

お問い合わせ時間:

9時30分〜17時30分

月曜〜金曜(土・日・祝日除く)

インフォメーション窓口(岡山県)

岡山市北区弓之町5-7

創拓ビル4F

(相談は事前予約制です)

ご予約はこちらから↓



その他事業の詳細につきましては中小企業省力化投資補助金HPをご覧ください。



関西圏食品バイヤーとの 商談会を開催

去る10月11日(金)に、岡山県と

岡山県中央会では、県内の食品関連事業者の関西圏における新規取引先獲得のため、関西の百貨店、卸売企業などのバイヤーとの商談会を岡山市内で開催しました。

当日は食肉加工販売業者やスイーツメーカーなど昨年を超える19の事業者が参加、バイヤーとしては株式会社阪急阪神百貨店、株式会社近鉄百貨店、株式会社センス

インターナショナル、株式会社G7ジャパンフードサービスの4社にお越しいただき、活発な商談が行われました。関西圏のバイヤーを迎えての商談会は今年で開催2年目となります。

参加企業にとつては、商談をするだけに留まらず、自社の製品を全国に展開するため必要な商品改良に関する具体的な意見がいただける機会にもなりま

した。

参加した事業者からは「いろんな方の目に自社の商品が触れていただけると最高の場所だと思っている」「興味持ってくれてる方が岡山に来て下さっていると嬉しいので、比較的商談もまとまりやすいのかと思う」等、商談の効果を感じさせる高評価が寄せられました。

岡山フードバレーセンターでは岡山県内のみならず、関西・首都圏への販路拡大を目指して包括的な支援を行ってまいります。

(インベーション推進課 池田)



全国初「岡山県外国人材等支援推進条例」が可決・成立

去る10月4日の岡山県議会で全国初となる「岡山県外国人材等支援推進条例」が議員提案により発議され、全会一致で可決・成立しました。施行は令和7年4月1日からになります。

条例では、地域の産業にとって外国人材が欠かせない存在となる中、行政や産業界・教育機関などが連携して支援策を講じることで、魅力ある働き先として「選ばれる県」になることを目的に掲げられています。

条例に定める「外国人材等支援推進計画」を知事が中心となって策定していくことになりませんが、具体的には、

- ① 外国人材の確保及び適正な労働環境の整備
 - ② 安心して暮らせる生活環境の整備、
 - ③ 地域住民との共生及び交流、
 - ④ 災害時の対応、
 - ⑤ 日本語教育及び県民のコミュニケーションに関すること、
 - ⑥ 行政、県民、事業者、教育機関関係者との連携等、といった項目が、計画で検討される見通しです。
- そうした中、外国人から「選ばれる県」に向け、岡山県中央会としても県の関係部局と緊密に連携を図りながら、外国人技能実習生や特定技能外国人を受入れる組合にも情報発信や組合の声を県に届けるよう努めてまいります。

■問い合わせ先
組織支援課

TEL: (086) 224・2245

「賃上げと労務費転嫁を両輪に」令和6年度「下請取引適正化推進月間」の実施について

公正取引委員会及び中小企業庁は、下請取引の適正化について、従来、下請代金支払遅延等防止法(以下「下請法」といいます。)の迅速かつ効果的な運用と違反行為の未然防止、下請中小企業振興法に基づく振興基準の遵守の指導等を通じ、その推進を図っています。特に、毎年11月を「下請取引適正化推進月間」とし、今年は「賃上げと 労務費転嫁を 両輪に」をキャンペーン標語として推進されます。

【主な取組】

- **下請取引の適正化に関する普及・啓発**
最新版の下請取引適正化推進講習会テキストの配布
 - 新聞、雑誌、インターネット等を通じた広報
 - 都道府県、下請企業振興協会、商工会議所、商工会連合会及び商工会、中小企業団体中央会、事業者団体等の機関誌等を通じた広報
 - 公正取引委員会、都道府県、中小企業関係団体、事業者団体等の施設におけるポスターの掲示
 - **各種講習・広報動画の配信**
中小企業向け広報動画の配信
 - 「下請法基礎講習」新作動画の配信
 - **そのほかの取組**
ガイドブック等
不当なし寄せに関する下請相談窓口
- 詳細は公正取引委員会のホームページを御覧ください。



フリーランスの取引に関する新しい法律がスタート!!

「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」(フリーランス・事業者間取引適正化等法)が令和6年11月1日に施行されます。

近年、働き方の多様化が進み、フリーランスという働き方が社会に普及してきた一方で、フリーランスが取引先との関係で、報酬の不払やハラスメントなど様々な問題やトラブルを経験していることが明らかになっています。

個人であるフリーランスと、組織である発注事業者の間における交渉力などの格差、それに伴うフリーランスの取引上の弱い立場に着目し、フリーランスが安心して働ける環境を整備するために制定されました。

多種多様な業界で活躍しているフリーランスとの業務委託取引について、「取引の適正化」と「就業環境の整備」の2つの観点から、発注事業者が守るべき義務と禁止行為を定めています。

本法の説明資料や解説動画等は厚生労働省ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。



岡山県ものづくり女性中央会 島合宿(宿泊研修)を実施

岡山県ものづくり女性中央会は、去る9月27、28日に児島唐湊沖の瀬戸内貸切 無人島 KURAJIMAにて島合宿を実施しました。当合宿はある程度隔離された場所で集中して学ぶため、また当組織の他にはない強みであるメンバー間の強固な繋がりをさらに高めるため、1泊2日の島合宿により寝食を共にすることで、個人の自己研鑽と組織の強化を図りました。

講師には(株)リクルート ジョブズリサーチセンター センター長の宇佐川邦子氏をお招きし、中間管理職の育成



及び確保に関するテーマを中心に、グループワークも含めて学びを深めました。参加者は自身のリーダーシップのタイプを分類することで求められる能力を確認し、さらにリーダーと管理職の違いを学び、自社の中間管理職にはどのような役割や能力が必要かを考えました。それにより、自社が求める人物像を具体的にイメージできるようになり、人材面での課題解決のヒントを得ました。

また今回は自然に囲まれた貸切島ということで会議室とは異なるリラックスした環境のため、メンバー間の親睦もより深まり、自由時間も他社との情報交換や自社の悩みを相談するなど、本音での様々な議論が尽きず、日常では得られ難い貴重な機会となりました。

(組織支援課 林)



組合内研修会・セミナー等に関する支援事業のご案内

岡山県中央会では、組合の方を対象として、組合運営上の諸問題の解決や各種制度改正、インボイス制度に関するお困りごとについて、セミナーや専門家派遣を実施します。ご希望の方は、お早めに岡山県中央会にご相談ください。

① 特定問題支援事業

業務効率化や人材育成、業務のスキルアップ、デジタル化推進、業界の環境変化や制度改正に関する専門家への相談など幅広いテーマでご利用が可能

【補助金】 上限15万円
(補助率2/3以内)

【活用事例】

- ・ 介護報酬改定研修、デジタルマーケティング研修、クリスマスマルシェの開催など

② 制度改正に伴う専門家派遣

働き方改革関連法などの労働法制、民法改正等の制度変更によって求められる対応や、制度改正に対応した事業継続力強化

【利用料】 無料

【活用事例】

- ・ 労働法制、民法等の制度改正のための社会保険労務士、弁護士等の専門家派遣

③ インボイス制度に関する専門家派遣

昨年10月から施行されたインボイス制度に伴うデジタル化対応など

【利用料】 無料

【活用事例】

- ・ インボイス制度の概要、仕入税額控除の要件、適格請求書記載にあたっての留意点、その他実務上生じた疑問や課題等についての専門家派遣

● 対象

- ① 県内組合・組合青年部・組合女性部
- ② ③ 県内組合、組合員企業

● 派遣期限

- ① 令和7年2月末
- ② ③ 令和6年12月20日

● 問い合わせ先

岡山県中央会 組織支援課
TEL: (086) 2224-2245

岡山県青年中央会 今年度第1回目の オンライン勉強会開催

去る10月1日、岡山県青年中央会では今年度第1回目となるオンラインでの勉強会を実施しました。講師には岡山県よろず支援拠点より、社会保険労務士であり、経営コンサルティングを事業とする株式会社グロウスリー代表取締役 小林 裕司氏をお招きし、「人件費高騰時代の生き残り術について」をテーマに行いました。



勉強会の導入として、近年人件費が高騰している要因や、数年後を見据えたときの人手不足の厳しい状況についての説明がありました。その後、各社での生産性改善のポイントやどのようなステップで進めていくべきか、また活用できる助成金等についても合わせて説明がありました。

出席者からは、「まさに現状についてのタイムリーな内容で改めて考える良い機会になった」、「少しずつでも取り組めるところから取り組んでいきたい」等の感想が寄せられました。青年中央会では今後も幅広いテーマでオンラインの勉強会を実施していきますので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

(組織支援課 長木)

書籍のお知らせ

中小企業組合必携2024～2025

「中小企業組合必携2024～2025」は中小企業の総務・会計・税務の実務などについて分かりやすく解説しています。



価格：5,500円

(税込・送料別)

中小企業組合 理事百科 第2版

「中小企業組合 理事百科 第2版」は2015年に発行された単行本です。組合の概要から種類・組合員・総会・役員・理事・事業や判例まで、多岐にわたる解説が掲載されています。2014年に発行された第1版を基に、より詳細かつ分かりやすい表現にするなどの改訂がされています。

価格：2,420円

(税込・送料別)



●申込み・問い合わせ先

総務企画課

TEL：(086)224・2245

年賀広告募集のご案内

組合等を対象として、本誌「中央会おかやま」の令和7年1月号に掲載する年賀広告を、次のとおり募集します。ぜひ新春のご挨拶、PR等にご活用ください。

●募集対象

中小企業組合、組合員企業等

●掲載スペース

1コマあたり：縦30mm、横80mm

●掲載料(消費税を含む)

- 1コマ(6,000円)、2コマ(12,000円)、3コマ(18,000円)、4コマ(24,000円)、8コマ(40,000円)、14コマ(70,000円)

※機関誌発送後、ご請求いたします。

●掲載内容

法人名、代表者役職・氏名、HPのURL、郵便番号・住所、電話番号、FAX番号を横書きで掲載

※ロゴや画像の使用等、デザインにご要望がございましたら、申込時にその旨をご記載ください。

●申込方法

岡山県中央会HPから申込フォームをご覧ください。

●申込締切日

令和6年11月25日(月)

●問い合わせ先

総務企画課

TEL：(086)224・2245



岡山県織物染色工業協同組合 第15回日本のファッション輸出 EXPOに出展

岡山県織物染色工業協同組合は、東京ビッグサイトで10月15日から17日の3日間に渡って開催された第15回日本のファッション輸出EXPOに、全国中央会の中小企業組合等課題対応支援事業を活用して、組合ブランド「倉敷染」の認定製品を中心に展覧しました。この展示会は毎年春季及び秋季に開催される、国内ブランドの製品及び生地の海外輸出促進のための商談会です。アジアから欧米まで世界各国のバイヤーが多数来場する国際商談の場となります。組合ではこれまで国内の消費者に向けて製品をPRする展示会に継続して

出展してきましたが、海外への販路拡大を図るべく、初めて当展示会に出展しました。来場される海外の方へ関心をもって頂く工夫として、「倉敷染」について英語や中国語でも説明



したリーフレットの配布や、会場内にブランドを説明する動画を流すことで非常に多くの方の関心を引くことができました。出展した組合員からは「直接生地を求めているお客様はあまり多くなかったものの、今までの展示会とは異なる新たな出会いや発見があった」とコメント。当展示会に出展を行った経験を活かし、製品の開発及び周知方法の改善に活かしていく予定です。また、今後引き続き海外販路の開拓を図るべく、国内の展示会及び海外のテキスタイル展示会に出展を行う意向です。

(組織支援課 長木)

岡山飲食業協同組合 組合等DX推進支援事業実施報告

近年の外食産業は新型コロナウイルス感染症拡大の発生以降、市場構造や消費者の食習慣が大きく変化したことから転換期を迎えており、業界内の各店舗独自の努力だけでは経営を続けることさえ困難になっています。

このことから、岡山飲食業協同組合(市内を中心とした飲食店60社超で組織)では『岡メシ』をキーワードとしたメニューの開発や情報発信、PRイベントの開催等の各種事業を展開することによって、県内飲食業界の活性化に繋げる取組を推進しています。

この取組を加速すべく同組合では本年度、岡山県中央会の実施する組合等DX推進支援事業を活用して、組合員飲食店60社超の連携を強化するため、組合員に向けた情報の発信・提供を実施する組合Webサイトの構築に取り組みしました。

同サイトでは、組合イベントや活動報告の情報発信とともに、Google My Mapsを活用した加盟

店の紹介等の機能も実装することによって、組合員に向けた情報の発信、組合員同士の交流、組合員店舗のPR等の複数機能を果たしており、今後、傘下組合員並びに県内飲食業界の活性化に繋がるものと期待しております。

URL:
<http://okameshi.com/>



岡山県自動車整備商工組合

青年部として初の事業を実施

今年の8月に発足した岡山県自動車整備商工組合青年部会は、実施

事業の第1弾として、10月19日(土)に岡山市内で開催されたはたらくトラックフェアミリーフェスタ2024に体験学習コーナーを設けました。このイベントは岡山県トラック協会が主催するもので、高所作業車や、冷蔵冷凍トラック等の様々な機能を持つトラックが集まり、来場者に対して様々な体験を提供するものです。当日はあいにくの雨で午後からはイベント中止となりましたが、まいりましたが、午前中の短い時間だけでも家族連れの方を中心



に多くの方が訪れていました。青年部会では、パンフレットの配布とともに自動車の点検がどのように行われるか説明を行ったり、車のエンジンの仕組みはどのようになっているか等の仕組みを設備を用いてわかりやすく説明しました。

また、業界のマスコットキャラクターの「てんけんくん」や、組合員企業の保有するカラフルな汽車バスも多くのこどもたちの関心を集めていました。青年部会長の藤森大輔氏からは、「この取組を事業の第1弾とし、今後も様々な取組を青年部全体でアイデアを出しながら活発に取り組んでいきたい」とコメント。今後は11月に定例会が行われ、青年部会員間での活発な意見交換等が行われる予定です。

(組織支援課 長木)



岡山県自転車商協同組合

第51回おはようサイクリング 県民大会を開催

岡山県自転車商協同組合(※令和6年6月に岡山県自転車軽自動車商協同組合から名称変更しました。)では、県民の体力増進と自転車の交通マナー習得のために各支部主催による「おはようサイクリング」と年に1回岡山県内の様々な地区で開催される「おはようサイクリング県民大会」を開催しています。

去る10月20日、笠岡市の白石島において、「第51回おはようサイクリング県民大会」を2年ぶりに開催しました。

フリーで白石島に渡った参加者は勾配のあるサイクリングコースを走行し、走行後レクリエーションとして海の家さんちやんでBBQを行いました。白石島の海を臨む美しい景色や気持ちの良い海風と共にサイクリングとBBQを楽しみました。

参加者からは、「思っていたよりも勾配がきつく疲れたが、その分お昼のBBQが美味しかった。途中、日本遺産の開龍寺をガイド付きで見学できたのもよかった。」などのコメントがありました。同組合笠岡



支部の丸山支部長からは「島独特の雰囲気や景観を楽しんでもらえた。当日は島で別の催し物も重なり、活気のある白石島でサイクリングを楽しんでもらえて非常に有意義な大会になったと思う。」とのコメントをいただきました。

今後も当組合では各支部を含めた「おはようサイクリング」を開催します。健康と自転車マナー習得のために参加してみたいかがでしょうか。

(組織支援課 小郷)

県外先進 組合事例

萩焼協同組合

組合ウェブサイトやSNS等のメディアを活用した共同宣伝活動

■背景・目的

当組合は萩市の代表的文化産業である萩焼受注の受け皿をつくり、組合員の経営体質の強化と経営の安定をはかる事を目的に設立されました。当組合が所在する萩市は歴史的な遺産や人物に恵まれた全国有数の観光地ですが、近年の観光客数はピーク時に比べて低迷しており、萩焼業界は観光客数低迷と消費者ニーズ多様化の影響を受け出荷額が減少しています。さらに、新型コロナウイルス感染拡大による影響からイベントや展示会が中止となり対面販売での売上が激減するなど、一層厳しい状況に置かれることとなりました。

そこで、萩焼の需要喚起を目的にオンラインによる販売・販促活動に力を入れることとし、組合のウェブサイトやSNS等を構築してメディアの活用に取り組みことにしました。

■取組の手法と内容

当組合は「催事・共同販売」「一」
「研修・教育」の3つの委員会を設けて、すべての組合員がいづれかに所属するようにしており、ウェブサイ

トとSNSの開設に向けてIT委員会のメンバーが中心となって事業を進めていきました。令和2年度に取引強化推進事業等を活用して、組合員の紹介とオンラインショップを備えた組合ウェブサイトを作成し、同時にInstagram・Facebookも開設しました。

ウェブサイトには萩焼と組合員各社の情報を掲載しており、とくに今まで自社ウェブサイトを持っていなかった組合員の知名度向上に寄与しています。SNSでの発信はIT委員会が方向性について検討を行っており、作品の写真だけではなく作品ができあがるまでの工程も掲載しているため、今まで消費者が目にすることのなかった情報を発信すること

に興味喚起を図っています。またホームページやSNSの活用方法については、専門家を招いての勉強会を開催しています。

これらの取組を進めるにあたり、地元の萩商工会議所による全面的バックアップが、事業を円滑にかつ効果的に進めることができたポイントです。

■成果とその要因

以上の販促活動を行った結果、開設して約2年半でFacebook約2,500人、Instagram約3,300人とフォロワーを増やせたので、萩焼の魅力を県内外に広くPRすることができていると思われれます。SNSからもオンラインショップに誘導で

きる仕組みにしているため、ネットショップでの売上も順調に伸びています。また、波及効果として対面店舗での売上も増加しています。

組合内に3つの委員会を設け、すべての組合員がいづれかに所属することで役割と責任が明確になり、事業をスムーズに進めることができました。

組合データ

萩焼協同組合

所在地：山口県萩市大字東田町19番地4

設立：1998年6月

主な業種：萩焼製品の卸売業又は小売業

組合員数：17人

HP：<https://hagi-yaki.jp/>

先進組合事例抄録

(収集年度：2023年度)より

※情報は当時のもの



萩焼の作品



組合ウェブサイト



組合Instagram

情報連絡員レポート

9月分

景況DI値

()内数字は前月の数値です。

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全体	- 3.4 (8.6)	2.4 (0.0)	32.8 (31.0)	- 3.4 (- 3.4)	- 24.1 (- 20.7)	- 13.8 (- 10.3)	- 3.4 (- 10.3)	- 3.4 (3.4)	- 24.1 (- 24.1)
製造業	- 17.2 (- 6.9)	- 6.9 (- 6.9)	37.9 (34.5)	0.0 (- 3.4)	- 27.6 (- 34.5)	- 17.2 (- 10.3)	- 3.4 (- 10.3)	- 3.4 (- 6.9)	- 27.6 (- 31.0)
非製造業	10.3 (24.1)	23.1 (15.4)	27.6 (27.6)	- 6.9 (- 3.4)	- 20.7 (- 6.9)	- 10.3 (- 10.3)		- 3.4 (13.8)	- 20.7 (- 17.2)

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

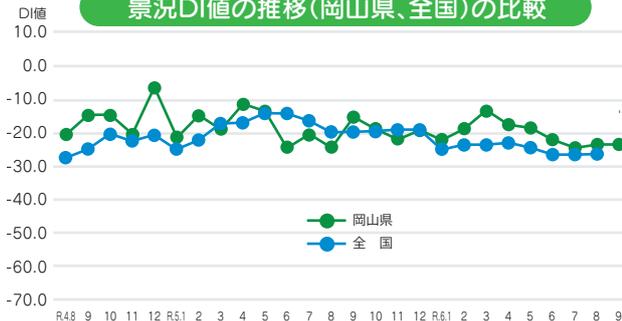
岡山県業界天気図

業種		前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
食料品	味噌	↑	↑	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	米菓	☀	↑	☁	☁	☁	☁	☀	☀	☁
	製粉・製麺	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	醤油	☀	☀	☀	☁	☁	☀	☁	☁	☁
	酒造	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
繊維工業	織物業・井原	☁	☀	☀	☁	☁	☀	☁	☁	☁
	織物業・県	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	アパレル・県	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	アパレル・笠岡	☁	↑	↑	↑	☁	☁	☁	☁	↑
木材・木製品	製材・県	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	合板	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
印刷	出版・印刷	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	製本	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
化学・ゴム	ゴム	↑	↑	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	プラスチック製品	↑	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
窯業・土石製品	生コンクリート	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	石灰	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	ブロック	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
鉄鋼・金属	鋳物	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	鋳物	↑	↑	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁
一般機器	機械器具・東岡山	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	鉄工・津山	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	鉄工・岡山	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	工作機械・総社	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	工作機械・井笠	☀	☀	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁
工作機械・美作	↑	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	
輸送機器	造船関連	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	自動車	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
その他	量	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁

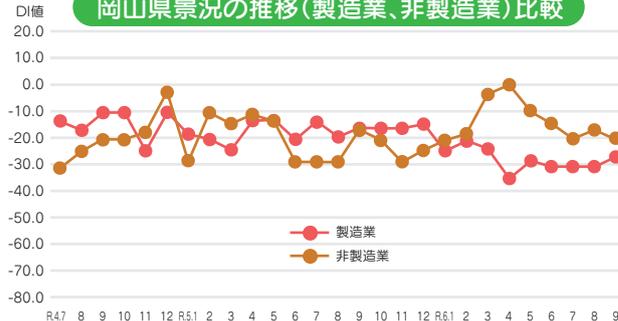
業界の景況感(前年同月比) ☀ 2 ☁ 40 ☁ 16 ☀ 増加・上昇・好転 ☁ 変わらず ☁ 減少・下落・悪化

業種		前年同月比							
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	雇用人員	業界の景況
卸売業	機械・工具	☀	☁	☁	☁	☀	☁	☁	☁
	電設資材	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	↑
	青果	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	木材	☀	☀	☀	☁	☁	☁	☁	↑
	水産物	☀	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁
小売業	石油	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	共同店舗	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	中古自動車	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	自動二輪	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
商店街	共同店舗	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	↑
	商店街・岡山	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	商店街・津山	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	↑
サービス業	商店街・倉敷	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	↑
	自動車整備	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	医療・柔道整復師	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	旅館・ホテル	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	↑
	テント	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	↑
	異業種	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
建設業	リサイクル	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	↑
	住宅リフォーム	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	↑
	看板工事	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	土工工事	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	管工事	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
運輸業	防水工事	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	バス	↑	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☀
	タクシー	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	トラック	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
その他	倉庫業	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	信用組合	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁

景況DI値の推移(岡山県、全国)の比較



岡山県景況の推移(製造業、非製造業)比較



製造業

2024年9月分のコメント

食料品

- 原料米価格の超高騰による価格転嫁は困難。収益悪化懸念。 《味噌》
- 欧州向け輸出は好調、秋の気配とともに需要期に入っていくと思われる。JA全農から令和6年産もち米の価格提示があり、昨年産から20～25%アップになる。精米加工賃も値上げとのこと。製品全体の値上げの検討に入る。 《米菓》
- 需要堅調なるも、人員確保に苦慮している。 《製粉・製麺》
- 9月度は、やっと値上げをする事業所も増えてきたが、深刻な原料高の中、確固たる粗利を求められず営業利益は、前年と変わらず平調な推移とみられる。長期的で今や安定化しつつあるかつてない円安水準は、不安定な原材料高をもたらし、既存製品の利益の圧迫をより進めている。我々中小企業経営者にとってさらに大きなストレスをもたらしている事業の先の先が読めない状況が続いている。また、我が日本国の人口減少は、歯止めが効かず近い将来、大都市圏、或いは、地方都市でも大都市圏発の大企業による《大資本による無選別的》な就業人員の囲い込みが、大きな脅威となり地方中小事業所の就業人員不足を、さらに深刻化させるとされる。この中小企業の発展を阻害する大企業の「人員」の囲い込みは、早急に歯止めをかけなければ、中小企業にとって「人財」をいかに担保でき発展の余地を得るかは、中小企業経営者が新たな就業者(人財)を迎えるために企業努力し魅力ある企業に変革できるかどうかにかかっている。 《醤油》
- 飲食を伴うイベント等の開催が、コロナ禍以前の状況に戻りつつあり業況の改善も見受けられるが出荷量は思った程伸びない。輸出数量については、好調に伸びている。 《酒造》

繊維工業

- 受注が決まりにくかった5、6月から緩やかに回復してきている。商品の品種的にもセルピッチに限られていた引き合いが他の広幅等にもきている。先月同様、回復度合いは企業間格差が大きい。 《織物業・井原》

木材・木製品

- あらゆる住宅関連商品の値上げの中で、新設住宅着工戸数は減少傾向にある。 《製材・県》

印刷

- 用紙代に続き、段ボールケースも11月より値上げが予定されている。 《出版・印刷》

化学・ゴム

- 自動車メーカーの操業は戻りつつあるが、まだ前年並みまでは回復していない。労務費の価格転嫁については、ほぼお客様のご了解をいただく。最低賃金の上昇について対応中。経営への影響は大きい。 《ゴム》

窯業・土石製品

- 岡山県全体の9月累計出荷量は、対前年比97.5%であった。7月から8月にかけて80%台と低水準で推移していたが、9月になってようやく前年並みの出荷量に近づいてきた。耐久性が高く、LCC(ライフサイクルコスト)に優れているコンクリート塗装について、国土交通省中国地方整備局を訪問し、トンネル内のコンクリート塗装のみならず、明かり部や交差点部、県北の積雪地帯でのコンクリート塗装の積極採用をお願いした。中国地方5県の中でも岡山県は特にコンクリート塗装が採用されている箇所が少ない事から、少しでも採用事例を増やして頂くよう要望した。 《生コンクリート》
- 今年夏前に実施した価格改定の効果がようやく表れたようで、対前年比は僅かに上昇したが、その他については特段の変化は見られない。 《ブロック》

一般機器

- 前月同様、受注量は減少し、設備操業度も昨年を下回っている。今後も厳しい状況が続くと予想している。 《鉄工・岡山》
- 全体的にはやや低調である。受注量はほぼ前年並みだが、原材料単価がネック。また、人員不足による残業時間の増加も影響している。 《工作機械・総社》
- 先月から価格転嫁が出来ているので、収益は好転できた。補助金が採択されたので、予定通りの設備投資が進められる。 《工作機械・井笠》

その他

- 物価上昇とコロナ以降の集会の形態の変化影響もあるのか全くと言っていいほど動きが悪く、9月も過去最低かもしれない。 《畳》

非製造業

2024年9月分のコメント

卸売業

- 仕入高の上昇の方が高く収益的には少々悪め。8・9月は天候によって販売量、価格が大きく変動。対策は難しいが可能な限り事前に備えるようにしたい。 《水産物》

小売業

- メーカーの取引条件が厳しくなったため、販売店の減少・高齢化と人口減少で地方の販売店の減少傾向が加速してきている。《自動二輪》
- 今年の9月は暑い月となった。昨年の9月の猛暑日はなし、今年は14日あり本当に異常な残暑となった。昨年に比べ土日祝日が1日多いにもかかわらず、全体の売上前年比は水面下、客数も同程度の水面下で厳しい結果となった。前年はコロナ禍明けで回復傾向にあり約7割の店舗が前年を大幅にクリアしたが、今年は3割がクリアするのみであった。厳しい残暑の影響により、秋物への移行が鈍化したことが低迷の一因とも考えられる。 《共同店舗》

商店街

- 来街者数に大きな変化は見られないが、残暑とは言えない気候によりアパレル関係を中心に初秋の販売に影響が出ている。 《商店街・岡山》
- 9月に入っても残暑厳しく、客足が疎らだった。 《商店街・津山》
- 9月の終りころは、気温が35℃以上の日がなくなり、少し通行量が増えたように感じる。9月上旬まで夏物が売れたが、良い傾向ではないと思う。 《商店街・倉敷》

サービス業

- 前年度比総請求金額は未だ低迷している。取扱件数は減少、請求額は若干増加であったが減少傾向は変わらない。いずれにしろ、まだ回復基調にあるとは言いがたく、引き続き会員の状況は厳しい。療養費収入だけでは事業経営が成り立たず自費による施術収入も不安定である。 《医療・柔道整復師》
- 前月までもそうだったが、9月についても、売上が大きく伸びた宿と下がった宿に二分化されている印象。雇用人員に関しても、増えた宿、減った宿とあり、地域内での人員の行き来があるように感じられ、根本的な雇用の解決に関しては先が長そう。 《旅館・ホテル》
- 建設業組合員については、ベトナムでの建設業技能実習生の応募者が激減しており、国外出国が緩和されたミャンマーにシフト、採用が増加しつつある。機械加工組合員の技能実習生・特定技能のインド人受入れは、他組合員に広がり、組合員2社の採用者6名が9月に入国、今後の求人も順調に伸びている。サービス業組合員は、売上は好転、収益も改善しつつある。介護サービス組合員の外国人材については、3名が採用され、年内には入国予定。 《異業種》
- 鉄・非鉄スクラップについて、製鋼メーカーの非需要期の為、価格の下落が続いている。スクラップの発生も低調なため、扱い量減、販売額減と厳しい状況が続いている。古紙は、猛暑も終わり、少しずつ物が動いて来たのか、ダンボールの発生は安定している。その他の新聞・雑誌は一時に比べて激減。ゴミに混入している古紙の掘り起こしが必要。 《リサイクル》

建設業

- 猛暑による為か、リフォーム見積り依頼が減少し契約の減少となる。 《リフォーム》
- 異常天候の影響で工事は増えているが、暑さ等により効率が悪い。 《防水工事》

運輸業

- 観光バスの集客人員は前年同月比73%となった。残暑の影響で観光需要は大きく伸び悩んだ。高速バスは前年同月比106%と前月より対前年比が好転した。コロナ5類移行後は回復基調が続いており、人流は活性化し前年並みを堅持している。 《バス》
- 2024年度も半ばになり、ドライバー不足による物流確保の意識が取引先にも浸透しつつあるようで、運賃が上がったとの話を聞くことが増えてきた感がある。その上昇率は決して満足できるものではないが、このような方向性が見えかけているようだ。 《トラック》
- 上期は、インバウンドの復調を含めた人流回復に起因する分野の市場は上向いたものの、一方では、長引く物価高騰により個人消費は低調な推移となったことで、猛暑の特需はあったものの、全般的に期を通して流通量が低下した半期となった。 《倉庫業》

その他

- 9月も原材料高騰等による影響を受けている企業については資金繰り支援を強化している。11月に「しんくみビジネスマッチング」も開催することから本業支援も強化していく。 《信用組合》

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障

団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、
一般扱 (口座振替扱月払等)で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社

業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



- * 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- ※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- ※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書 (契約概要)」「特に重要な事項のご説明 (注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」および岡山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程 (規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の代理店・扱者として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011
<https://www.taiju-life.co.jp/>